



# 笠森寺庫裏新築工事

上の写真は御住職のお住まいに  
られる 昭和五十八年十二月に新築  
にて完成した庫裏です、笠森観音ふ  
もと楠光院の右隣に建てられました。  
今年も大晦日のNHK「行く年來  
る年」の番組が始まる頃、家を出発、  
観音堂の階段を登る途中で年が明け  
ました。堂内に入り小川長宏御住職  
に年頭のご挨拶、そして、新築当時の  
思い出の話になりました。その中で  
お互い鮮明に覚えていた件が一致した  
のを嬉しく感じました。

その話題になつた場所が左写真の  
玄関の天井についてです、この天井板  
はここ笠森で育つた「笠森杉」が使わ  
れています、国指定天然記念物笠森  
寺自然林のため今は伐採使用が出来  
ない稀少な杉で、屋久杉に似た特有  
の木目の根に近い場所から切り出さ  
れた根空(ねもく)といわれる板です、  
そして格子に組まれた縁は「尾州桧」  
を使い銀杏(ぎんなん)面を施し組ん  
だものです、この天井の施工は当時、  
私自身が担当しました。霧吹きを使  
用し慎重に組んだ当時のことが共に  
思い出されたのでした。

上棟時、棟束に工事に携わった職  
人の名前が御住職の筆により札に書



かれ取り付けられています。そして  
この天井裏にも施工者の名を記した  
札が置かれました。このお使いは  
心にいつまでも残り、仕事へのやる気  
を取り戻す原動力ともなっています。  
上写真の瓦屋根の造形は入母屋  
造りと呼ばれます、右上のハの字の「破  
風板」と呼ばれる板を取り付ける際、  
御住職にお手伝い頂いたこともあり  
ました。この破風板の部分と全体との  
バランスは場所ごとに計算し美しい  
調和に仕上げてゆきます。